



令和元年10月17日に全員協議会を開催し、香陵公園周辺整備PFI事業の事業者決定について、市当局から報告を受けた後、協議が行われました。

ここでは、その内容についてお知らせします。

香陵公園周辺整備とは

老朽化した市民体育館の建てかえにあわせ、現在の市営香貫駐車場、市民文化センター等を含むエリアに、新市民体育館、新駐車場、公園などを整備するものです。

事業手法について

公共施設などの整備や維持管理等に当たり、民間の資金、経営能力及び技術的能力を活用するPFI事業としました。

事業者決定の経緯

事業者の選定は、価格やその他の条件（技術、提案等）を総合的に評価して落札者を決定する「総合評価一般競争入札」により行われました。

「香陵公園周辺整備PFI事業 落札者決定基準」に基づき、資格審査、提案価格の確認及び基礎審査を行った上、提案内容の加点審査及び提案価格の審査を行い、落札者が決定されました。

●加点審査の項目：有識者など6人で構成される「沼津市PFI事業検討委員会」で審査

- | | | |
|---------------------|---------------|---------------|
| ①事業計画全体に関する事項 | ③開業準備業務に関する事項 | ⑥事業の安全性に関する事項 |
| ②設計・建設・工事監理業務に関する事項 | ④維持管理業務に関する事項 | ⑦自由提案事業に関する事項 |
| | ⑤運営業務に関する事項 | ⑧まちづくりに関する事項 |

【落札者】清水建設グループ

※青字は市内の企業

代表企業：清水建設(株)

構成員：(株)梓設計、大岡建設工業(株)、大藤建設(株)、富士峰建設(株)

日本管財(株)、美津濃(株)、(株)建設技術研究所 静岡事務所

協力企業：IHI 運搬機械(株)、ミズノスポーツサービス(株)、日本リコmend(株)、(株)M's PLANNING

【落札金額】127億89万6,800円

全員協議会で交わされた主な質疑

問 加点審査の中の⑦自由提案事業に関する事項で、落札業者からの提案で評価された点は。

答 自由提案事業の実現性、継続性、要求施設の相乗効果、誰もが利用しやすい工夫されたものであることが評価された。

問 落札業者は、加点審査の中の⑧まちづくりに関する事項の評価が高いが、市はどのような点に期待しているか。

答 周辺への回遊性の向上や市民のネットワークづくり、スポーツのサークルに対する相談サポートなどのネットワークづくりを促進する役割を積極的に担うという点である。

問 総事業費の内訳と、PFI手法導入効果の一つである財政負担の平準化を踏まえた返済計画は。

答 総事業費は約127億円、そのうち施設整備費に当たる部分が約91億円、そのほか維持管理運営経費が約36億円である。起債の償還については、新立体駐車場と新市民体育館本体及び外構等は完成年度が異なるため、年次ごと償還額がばらつきがあるが、施設整備費は、ピーク時でおおむね年額4億5,000万円程度、それ以外のランニングコスト、運営経費については、おおむね年額3億円前後で見込んでいる。なお、起債の償還期間については、20年を予定している。

市当局への要望

香陵公園周辺整備事業は、スポーツ・健康づくりの拠点の整備のみならず、中心市街地の活性化及び市内の回遊性の向上に資する大変重要な施設であることから、当局におかれては、遺漏なく今後の手続きを進めてほしい。

— 香陵公園周辺整備PFI事業の事業者選定結果について —
全員協議会を開催しました！